

No.26

2004年11月発行

淀川水系 流域委員会 淀川部会ニュース

<http://www.yodoriver.org>

CONTENTS

- 第26回淀川部会の内容…………… P. 1
- 第26回淀川部会の説明資料より抜粋…………… P. 3
- 配付資料リスト…………… P. 7
- 淀川部会 委員リスト…………… P. 8
- これまで開催された会議等について…………… P. 9
- 配付資料及び意見書の閲覧・入手方法・ご意見受付…………… P. 10

平成16年10月19日（火）、第26回淀川部会が行われました。



【カラスマプラザ21にて】

第26回淀川部会の内容

資料「河川整備計画進捗状況（実施）（調査・検討）報告項目」を用いて平成16年度事業の進捗に関しての説明がなされた後、委員との意見交換が行われました。

第26回淀川部会結果概要

庶務作成

開催日時：2004年10月19日（火） 13：30～17：00

場 所：カラスマプラザ21 8階大会議室

参加者数：委員13名、河川管理者21名、一般傍聴者75名

1. 決定事項

- ・ 次回の淀川部会は11月30日16：00～19：00に開催する。
- ・ 「基礎案に係る平成16年度事業の進捗の点検」については、分担を決めて検討し、次回の部会にて、意見（案）を提出する。次回の部会では、意見（案）について、意見交換を行う。

2. 審議の概要

①河川整備計画基礎案に係る平成16年度事業の進捗の点検について

河川管理者より資料1-1「河川整備計画進捗状況（実施）（調査・検討）報告項目」を用いて、説明がなされた後、意見交換が行われた。主な意見は以下の通り。

○ [治水-1 水害に強い地域づくり協議会] に関する意見交換

- ・ 川に関心を持っている組織に働きかける方が効率的だ。
- ・ 自主防災組織はほとんどの市町村にあるが、町内会や消防団が兼ねている場合が多い。河川管理者は実態を把握するとともに、組織の育成を進めていかなければならない。
- ・ ハザードマップと一緒に質問カードを添付したり、駅前で実績洪水の浸水深を表示する等、市町の職員だけでなく、より広範囲の方々に関心を持ってもらうための活動が必要。
- ・ 住民の中から高い意識を持ったリーダーが出てくるよう、現場主義の活動を積み重ねて欲しい。
- ・ 川の生物についてPRする担当者をつかって、学校を利用して地域に広めていくといった活動も考えてみればよいのではないか。
- ・ 行政は地域の災害弱者をほとんど把握していない。災害弱者の実態を把握して、災害時に実際に連携可能な両隣3軒分程度の連絡網を整備していかないといけない。

○ [利用-14 船舶航行環境影響検討] に関する意見交換

- ・ 舟運と上水の取水口との関係はどうなっているのか。
← 現段階では、舟運による上水への影響は調査できていない。水道事業者との協議も必要となる。課題の1つだと認識している（河川管理者）。
- ・ 大型船では環境への影響が大きい。できるだけ小型の船にしてほしい。
← 河川にたくさんの船やプレジャーボートが行き交うといったことは考えていない。環境への影響をモニタリングしながら、環境と舟運の共存を考えていきたい（河川管理者）。
- ・ 意見書では環境を配慮した計画を求めているが、河川管理者は船舶による都市交通網の整備や観光面における開発を進めていくという考えを持っているのか。
← 河川管理者が自ら航行させるわけではないので、現時点では、どういうものになるかはよく見えていない。ただ、地域が盛り上がり舟運を観光面に活かしていこうという話が出て

くることは考えられる。いずれにせよ、水質や生態系等の課題を整理して、航行規則や水質基準を決めていく必要がある。歯止めが効かなくなるようなことは絶対に避けるべきだと思っている（河川管理者）。

- ・ 事業の進捗の点検に対しては、河川管理者が何を求めているのかを考えた上で、意見を述べて欲しい。河川管理者の計画には、委員会の提言とかなり違っている面もある（部会長）。

○ [環境-8 横断方向の河川形状の修復を実施（海老江地区）] に関する意見交換

- ・ 海老江地区の上流部にある船着場の棧橋の内側には水が入ってこず、腐りつつある。
← 淀川環境委員会のご意見を伺いながら、改善策を考えていきたい（河川管理者）。

○ [維持-4 河川管理施設の老朽化対策の実施（淀川大堰等関連施設）] に関する意見交換

- ・ ダムではコンクリートのひび割れがほとんど発生していない。品質に違いがあるのか。
← 相応のダムの場合、現場でコンクリートをつくっているため品質が違う（河川管理者）。

○ [環境-18 縦断方向の河川形状の修復の実施（魚類の遡上・効果）（小泉川）] に関する意見交換

- ・ 非常に立派な魚道に思える。もう少し簡単な構造でもよいのではないかと。
← 資料のイメージ図は完成直後のもので、植生が増えてくれば、それほどの違和感は感じないのではないかと考えているが、構造については相談しながら進めていきたい（河川管理者）。

○ [治水-12-6 堤防補強（下津屋地区）] に関する意見交換

- ・ 資料1-1 P30の下図の記述は誤りではないか。正しくは「既設堤体と同等あるいは透水性の小さい材料を用いる」ではないか。
← 訂正する。透水係数も正しくは「 1×10^{-4} 」なので訂正頂きたい（河川管理者）。

○ [利水-1 利水者の水需要の精査確認] に関する意見交換

- ・ 特に近畿は他の都市に較べて圧倒的に水を使い過ぎているので、一種の警告の意味を込めて、無駄遣いや使い過ぎに対する意識改革を求めていかなければならない（部会長）。
- ・ 利水者には水需要の確認だけでなく、水需要をコントロールしていくという視点から利水者自身の提案がないかを聞いて欲しい。利水者自身が考えていかなければならない（部会長）。

○ [計画-1 河川レンジャー] に関する意見交換

- ・ 河川レンジャーの構成・活動範囲として、「河川レンジャーは個人または団体とし」となっている。団体の取り扱いについてはどのように考えているのか。
← 団体のボランティア活動が河川レンジャーの活動につながっても良いのではないかと考えている。団体の1人が河川レンジャーとして対応するという形もあり得る（河川管理者）。

○ [環境-22 縦断方向の河川形状の修復の検討（魚類の遡上・降下）] に関する意見交換

- ・ 自治体が管理している河川と国が管理している河川はすべて結びついている。データの相互利用や交換等、うまく連携できるようにしてほしい。

3. 一般傍聴者からの意見聴取：一般傍聴者2名より発言があった。主な意見は以下の通り（例示）。

- ・ 利水の精査確認について昨年5月に河川管理者に質問をし「精査確認中」との回答を頂いたが、いまだに回答が示されていない。府営水道は9月に水需要の中間報告を出しており、ほとんど答えが出ているのと同じだ。委員会は、府営水道を呼んで水需要の精査について説明を聞くべき。
- ・ 異常渇水は上流の滋賀県だけで対応すべき問題ではなく、下流の流量調整も併せて、解決していく問題だ。また、取水制限の開始時期を早めればダムよりも大きな効果が期待できる。異常渇水の問題は、琵琶湖の下流域である、淀川部会で議論すべきテーマだ。
- ・ 琵琶湖の長期水位低下が予想された時点で、前もって、渇水対策会議で取水制限のルールを決めて、一般市民に告知していけばよい。

以上

※議事内容の詳細については「議事録」をご確認下さい。最新の結果報告及び議事録は、ホームページに掲載しております。

第26回淀川部会の説明資料より抜粋

第26回淀川部会では、資料1-1「河川整備計画進捗状況（実施）（調査・検討）報告項目」を用いて、「水害に強い地域づくり協議会（仮称）」など20項目について説明がなされた後、「水害に強い地域づくり協議会（仮称）」および「船舶航行環境影響検討」を中心に、意見交換が行われました。以下に、資料の一部を抜粋して掲載いたします。

□報告項目

【意見を頂きたい事項】

報告項目	整備内容 シート番号	記載箇所	事業名	該当 事務所	備考	頁
①	治水-1	5.3.1(1)	水害に強い地域づくり協議会（仮称）	淀川	調査検討	10
①	利水-14	5.5.3(5)	船舶航行環境影響検討	淀川	調査検討	16

【実施】（最初の項目のみ掲載）

報告項目	整備内容 シート番号	記載箇所	事業名	該当 事務所	備考	頁
②	環境-6	5.2.1(1)	横断方向の河川形状の修復を実施（赤川地区）	淀川	実施	23

【調査・検討】（最初の項目のみ掲載）

報告項目	整備内容 シート番号	記載箇所	事業名	該当 事務所	備考	頁
②	計画-1	5.1.2(2)	河川レンジャー	淀川	調査検討	45
	維持-18	5.6(3)	安全利用のための対策	淀川	調査検討	

①：流域委員会（淀川部会）の意見を頂きたい事項 ②：実施、調査、検討について途中経過報告事項

□調査・検討報告内容（抜粋）

水害に強い地域づくり協議会（仮称）

調査・検討

実施内容

河川管理者と住民・住民団体、自治体等で構成される「水害に強い地域づくり協議会」を設置し、関係者が連携して下記の項目について検討・実施する。

- ・自分で守る（情報伝達・避難体制）
- ・みんなで守る（水防活動）
- ・地域で守る（街づくり・地域整備）

協議会は地区毎とし、これまでに下記のとおり首長会議及び行政WGとして開催した。

- ・木津川右岸・宇治川左岸地区（4市4町）において水害に強い地域づくり協議会として第1回首長会議をH16.1.21に開催。協議会についての認識の意見交換。
- ・木津川右岸・宇治川左岸地区（4市4町）において第1回行政WGをH16.4.20に開催。防災担当者による地域の現状と課題の意見交換。
- ・木津川左岸地区（2市2町）における水害に強い地域づくり協議会の第1回首長会議と第1回行政WGの合同会議をH16.9.24に開催。地域の現状と課題を意見交換。



← 適時、種々連携しながらできることから実施していく。 →

- 1) 木津川右岸・宇治川左岸地区（4市4町）
（加茂町、山城町、井手町、城陽市、久御山町、八幡市、宇治市、京都市）
- 2) 木津川左岸地区（2市2町）
（八幡市、京田辺市、木津町、精華町）

●会議での議論

首長会議（木津川右岸・宇治川左岸地区）での主な発言

- ・近年は大きな洪水もなく洪水を知らない新しい住民が多くいる。（下流の市町）
- ・新興住宅は高台にあり、むしろ古くからの住民の方が水防に関心がなく、高い堤防が安心だと思っている。（上流市町）
- ・ハザードマップを全戸配布したが、住民からの反応がない。
- ・木津川の堤防が切れることは住民も行政も思っていない。

行政WG（木津川右岸・宇治川左岸地区）での主な発言

- ・洪水の経験がない住民がほとんどである。
- ・堤防は切れないと思っており、水害が起こった時の状況が想像できない。
- ・ハザードマップを配布したが、住民からの反応が伝わってこない。
- ・自主防災組織は役員に多大の負担がかかり存続が難しい。
- ・自主防災組織の役員によって組織間に熱意の差がある。

首長・行政WG合同会議（木津川左岸地区）での主な発言

- ・福井水害で意識は高くなったが、木津川の堤防が切れるとは思っていない。
- ・自主防災組織と災害弱者の対策が急務である。
- ・住民にいかに情報を提供できるかが課題である。
- ・地域コミュニティーと自主防災組織をいかに結びつけていくかが大切である。
- ・これからは土のうを積む訓練よりも、まず避難をする訓練が大切である。

●協議会展開上の課題

- ・水害に対する考え方や取り組みが市町によってかなり差がある。
- ・広域な連携を図る上での具体的な形態が見えない。

●これからの取り組み

市町の防災に対する具体的な取り組み

- ・洪水実績の浸水深の表示。
- ・ハザードマップの作成を推進。
- ・自主防災組織の充実。
- ・防災無線の完備。

協議会での取り組み

- ・情報提供のための光ファイバー網の整備。
- ・自主防災組織や水防関係者等による住民代表者会議の開催。
- ・有識者等を招いた講演会や現地視察（巨椋池跡地周辺）を通して防災担当者の意識の高揚化を図る。
- ・福井豪雨災害を教訓とした勉強会を実施。（被災地の見学や生の体験談を聞く）
- ・今後、他の地区においても順次実施を検討していく。

【平成16年10月19日現在】

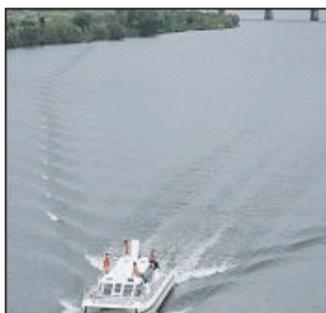
船舶航行環境影響検討

調査・検討

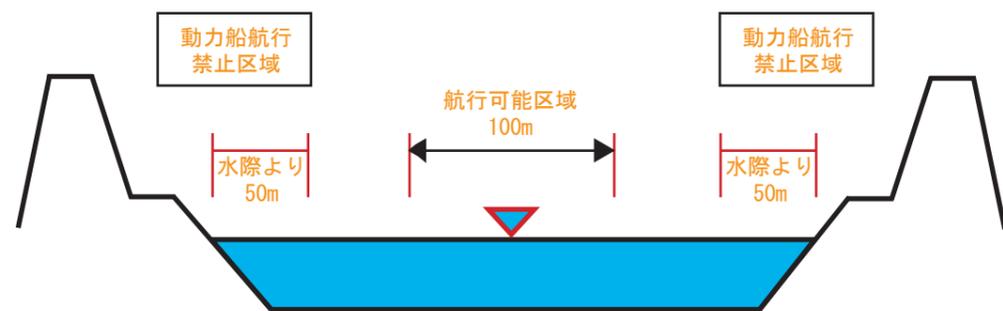
船舶航行による航走波、騒音及び水質等への影響を航行実験により調査、検討を行う。

- 1) 実験内容
淀川航行船舶に適した、曳き船+台船、双胴船、水上バス、砂利採取船、巡視船により以下の航行実験を行った。
(1)航走波(2)航走音(3)航行方法(4)離着岸時の底泥巻き上げ(5)航行船舶の性能把握(6)ワンドへの影響(7)野鳥への影響観察
- 2) 実験結果
両岸50m以上離して航行実験を行った結果、波高は船舶により異なるが、概ね20cm程度であり、水際植生への航走波の影響は低いものとする。
- 3) 決定事項
環境保全の対策として船舶航行規則の概案として、航行条件、航行区域、航行速度、航走波抑制、船舶曳航条件、係留・停泊条件について定めた。
- 4) 調整事項
実験結果を「淀川環境委員会」に報告し、意見交換により環境影響への回避策を検討する。
- 5) 今後の取組
離岸堤の整備などによる保全方法を検討する他、環境調和を目的とした航行規則を策定する。策定にあたっては、「淀川水面利用調整協議会」において、ゾーニングなど利用区域を制限し保全を図ることを検討する。

双胴船の航走波



鳥飼ワンド入口消波ブロックへの越波



【平成16年10月19日現在】

今後の課題

- ・ 船舶航行による環境影響について
- ・ 航行規則について
- ・ 淀川大堰閘門の設置について
- ・ 中上流域の停泊地の設置検討について
- ・ 上流域の水深確保について

淀川舟運基本構想の策定

配付資料リスト

●第26回淀川部会 配付資料

資料リスト		資料請求 No
議事次第		Y26-A
資料1-1	河川整備計画進捗状況（実施）（調査・検討）報告項目	Y26-B
資料1-2	淀川堤防強化検討委員会報告書	Y26-C
資料1-3	河川整備計画進捗（調査・検討、実施）に係る委員からの意見 ※第25回淀川部会（H16. 9. 17）提出資料	Y26-D
資料2	委員会における今後のスケジュール	Y26-E
参考資料1	委員および一般からのご意見	Y26-F

注：紙面の都合上、資料内容は省略しています。資料をご覧になりたい方はP. 10の「配付資料及び意見書の閲覧・入手方法」をご覧ください。

淀川部会 委員リスト

2004. 10. 18現在
(五十音順、敬称略)

No.	氏名	対象分野	所属等	備考(兼任)
1	有馬 忠雄	植物	大阪府 自然環境保全指導員	環境・利用部会 住民参加部会
2	今本 博健	洪水防御 (河川工学、水理学)	京都大学 名誉教授	治水部会 利水部会
3	大手 桂二	砂防	京都府立大学 名誉教授	治水部会
4	荻野 芳彦	農業関係(農業水利)	大阪府立大学大学院 農学生命科学研究科 教授	利水部会 住民参加部会
5	川上 聡	地域の特性に詳しい委員 (水環境保全ネットワーク・ 市民活動)	NPO法人 全国水環境交流会 理事 木津川源流研究所 所長	環境・利用部会 利水部会 住民参加部会
6	紀平 肇	動物	中間法人 水生生物保全研究会 理事	環境・利用部会
7	小竹 武	地域の特性に詳しい委員	大阪市立十三中学校 校医、 小竹医院 院長、 淀川ネイチャークラブ 会長	住民参加部会
8	田中 真澄	地域の特性に詳しい委員 (自然哲学)	岩屋山志明院 住職 鴨川の自然をはぐくむ会 代表 市民投票の会 共同代表	環境・利用部会 住民参加部会
9	谷田 一三	動物 (河川生態学、昆虫分類系統学)	大阪府立大学総合科学部 教授	環境・利用部会
10	田村 悦一	法律(行政法)	京都橘女子大学文化政策学部 教授 立命館大学 名誉教授	住民参加部会
11	塚本 明正	地域の特性に詳しい委員 (幅広い分野の人のネット とコーディネイト)	子どもと川とまちのフォーラム 副代表	住民参加部会
12	寺田 武彦 (部会長)	法律	弁護士 日弁連公害対策・環境保全委員会 元委員長	利水部会 住民参加部会
13	原田 泰志	漁業関係	三重大学生物資源学部 教授	環境・利用部会
14	槇村 久子	地域・まちづくり (地域計画・景観文化論)	京都女子大学現代社会学部 教授 (社)なら女性フォーラム 副理事長	環境・利用部会 利水部会
15	榊屋 正 (部会長代理)	地域の特性に詳しい委員	地球環境関西フォーラム 事務総長	環境・利用部会 治水部会 利水部会
16	山本 範子	地域の特性に詳しい委員	流域住民	環境・利用部会 治水部会
17	和田 英太郎	水質(同位体生態学)	地球環境フロンティア研究センター プログラムディレクター	環境・利用部会
18	渡辺 賢二	水環境	上桂川漁業協同組合 元事務局長	環境・利用部会

注：対象分野欄の()は委員の専門を示しています。

これまで開催された会議等について

第26回淀川部会（平成16年10月19日）までに、以下の会議が開催されています。

委員会	琵琶湖部会	淀川部会	猪名川部会
第1回 ～第6回 平成13年開催	第1回 ～第8回 平成13年開催	第1回 ～第10回 平成13年開催	第1回 ～第6回 平成13年開催
第7回 ～第15回 平成14年開催	第9回 ～第20回 平成14年開催	第11回 ～第20回 平成14年開催	第7回 ～第17回 平成14年開催
第16回 H15/1/17 (金)	第21回 H15/1/29 (水)	第21回 H15/7/5 (土)	第18回 H15/7/1 (火)
第17回 H15/1/24 (金)	第22回 H15/5/19 (月)	第22回 H15/8/26 (火)	第19回 H15/9/2 (火)
第18回 H15/2/24 (月)	第23回 H15/6/10 (火)	第23回 H15/10/13 (月)	第20回 H15/10/9 (木)
第19回 H15/3/27 (木)	第24回 H15/7/18 (金)	第24回 H16/8/25 (水)	第21回 H16/9/1 (水)
第20回 H15/4/21 (月)	第25回 H15/8/25 (月)	第25回 H16/9/17 (金)	
第21回 H15/5/16 (金)	第26回 H15/9/24 (水)		
第22回 H15/6/20 (金)	第27回 H15/10/23 (木)		
第23回 H15/7/12 (土)	第28回 H16/10/13 (水)		
第24回 H15/9/5 (金)	環境・利用部会	治水部会	利水部会
第25回 H15/9/30 (火)	第1回 H15/3/8 (土)	第1回 H15/3/8 (土)	第1回 H15/3/8 (土)
第26回 H15/10/29 (水)	第2回 H15/3/27 (木)	第2回 H15/3/27 (木)	第2回 H15/3/27 (木)
第27回 H15/12/9 (火)	第3回 H15/4/10 (木)	第3回 H15/4/10 (木)	第3回 H15/4/14 (月)
第28回 H16/2/26 (木)	第4回 H15/4/17 (木)	第4回 H15/4/14 (月)	第4回 H15/9/2 (火)
第29回 H16/5/8 (土)	第5回 H15/5/29 (木)	第5回 H15/8/25 (月)	第5回 H15/10/24 (金)
第30回 H16/6/22 (火)	第6回 H15/8/25 (月)	第6回 H15/10/24 (金)	
第31回 H16/7/29 (木)	第7回 H15/10/15 (水)		
第32回 H16/8/24 (火)	住民参加部会	ダムWG	3ダムサブWG
第33回 H16/9/29 (水)	第1回 H15/2/24 (月)	第1回 H16/7/11 (日)	第1回 H16/8/7 (土)
	第2回 H15/3/27 (木)	第2回 H16/7/18 (日)	第2回 H16/9/11 (土)
	第3回 H15/4/11 (金)	第3回 H16/7/25 (日)	川上ダムサブWG
	第4回 H15/4/18 (金)	第4回 H16/8/19 (木)	第1回 H16/8/3 (火)
	第5回 H15/5/27 (火)	第5回 H16/9/23 (木)	第2回 H16/9/3 (金)
	第6回 H15/8/28 (木)	第6回 H16/10/4 (月)	余野川サブWG
	第7回 H15/10/23 (木)	第7回 H16/10/18 (月)	第1回 H16/8/11 (水)
			第2回 H16/9/22 (水)
その他	設立会 H13/2/1 (木)	提言説明会 H15/1/18 (土)	
	発足会 H13/2/1 (木)	しっかりしてや!! 流域委員会 H16/2/28 (土)	
	第1回 合同懇談会 H13/2/1 (木)	ファシリテーターとの 検討会 H16/5/15 (土)	
	第1回 合同勉強会 H14/4/11 (木)	大戸川、天瀬ダム意見交換 H16/9/26 (日)	
	シンポジウム H14/6/23 (日)	丹生ダム意見交換会 H16/9/27 (月)	
	拡大委員会 H14/11/13 (水)		

配付資料及び意見書の閲覧・入手方法

以下の方法で資料及び意見書を閲覧、または入手することができます。ただし、以下の点にご注意下さい。
 ・当日会場で部数の関係上、一般傍聴者に配付されなかった資料は、閲覧のみ可能とさせていただきます。
 ・当日会場で一般傍聴者に配付された資料で原本がカラーの資料は、白黒での提供となります。カラーの資料を希望される場合にはコピー代を実費でいただきます。なお、カラー資料についてはホームページ等での閲覧は可能です。

ホームページによる閲覧

配付資料及び意見書は、ホームページで公開しております。

郵送

郵送による配付資料の送付を希望される方には、送料実費にて承っております。（希望部数が多い場合、またカラーの資料を希望される場合はコピー代も実費でいただきますので、予めご了承ください。）ご希望の方は、FAXまたは郵送、E-mailで庶務までお申し込みください。

閲覧

資料の閲覧を希望される方は、庶務までご連絡ください。

「意見書」の入手

意見書の送付を希望される方は、氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号と「意見書希望」を明記のうえ、下記までご連絡ください。

※頂いた個人情報については、上記資料及び意見書の送付のみに使用させていただきます。

ご意見受付

淀川水系流域委員会ではみなさまのご意見を募集しています。
ホームページ、E-mailまたはFAXにてお寄せ下さい。

※氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号をご記入のうえ、下記までお寄せ下さい。
 ※寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。公表に支障がある場合にはその旨も併せてご記入いただきますよう、お願いいたします。

※ご意見を公表する場合には、団体・会社名（または居住地）とお名前も公表いたしますので予めご了承下さい。
 ※ご記入いただいた個人情報については、上記の意見の公表のみに使用させていただきます。

■ホームページ <http://www.yodoriver.org>

■E-mail yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp

■TEL 06-6222-5870

■FAX 06-6222-5871

淀川水系流域委員会 庶務
みずほ情報総研（株）



淀川水系流域委員会 淀川部会ニュース No. 26

2004年11月発行

【編集・発行】淀川水系流域委員会

【連絡先】淀川水系流域委員会 庶務

みずほ情報総研 株式会社

.....
研究員：吉岡、篠田、鈴木、熊谷、松本
事務担当：山根

〒542-0042 大阪市中央区今橋4-2-1 (大阪富士ビル8階)

TEL: (06) 6222-5870 FAX: (06) 6222-5871

E - mail : yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp

●流域委員会ホームページアドレス
<http://www.yodoriver.org>

◆ニュースレターは以下の機関でも配布しています。

国土交通省 近畿地方整備局／淀川河川事務所／琵琶湖河川事務所／大戸川ダム工事事務所／淀川ダム統合管理事務所／猪名川河川事務所／猪名川総合開発工事事務所／木津川上流河川事務所／水資源開発公団 関西支社／滋賀県 土木交通部河港課／京都府 土木建築部河川課／大阪府 土木部河川室／兵庫県 土木部河川課／奈良県 土木部河川課／三重県 伊賀県民局 等

*ニュースレターは最新号、バックナンバーともに、ホームページでもご覧頂けます。